

清流

来年度へ向けて

私の前任校は高森町立高森東小学校です。しかし、現在この名称は残っていません。私の転勤と時期を同じくして、県下初めての「義務教育学校」(※)…「高森東学園義務教育学校」として再スタートしているのです。今回は、訳あって、その義務教育学校がスタートする前年度に、私が取り組んだ内容を掲載した学校だよりの一部を紹介したいと思います。

※義務教育学校とは、小学校課程から中学校課程まで義務教育を一貫して行う学校。学校教育法の改正により2016年に新設された学校教育制度。

「たくさんの先生方から いろいろなことを学ぼう！」

この言葉は、先日の始業式で私が子どもたちに話したことのひとつです。

今年度から、5・6年生が複式学級となりましたが、複式の授業を解消するために中学校の先生方に授業に入っていただくことはお伝えしてきました。本年度、そのシステムの導入と同時に、その他の学年でも、担任以外の先生から学ぶ機会を取り入れています。中学年は、担任の先生方の長所を生かした授業という視点。低学年は、合同で学習する場面を増やした複数体制の指導という視点から導き出したものです。今回は、これらの状況を少し詳しく説明したいと思います。

【高学年(5・6年)】 ※中国＝中学校国語教師 その他も同様

	国語	社会	算数	理科	音楽	図工	家庭	体育	英語	総合	道・学
5年	担任	中社	中数	担任	中音	中技家	中技家	担任	中英	担任	担任
6年	※中国	担任	担任	中理			担任	担任	担任	中技家	担任

【中学年(3・4年)】

- ・3年生の理科を4年担任が担当。
- ・4年生の英語と図工を3年担任が担当。(3年担任は中学校英語免許所持)
- ・音楽は3・4年ともに中学校の音楽教師が担当。
- ・英語の授業は、町英語指導補助員が補助。ALTも一部の授業で補助。
- ・朝の会、帰りの会、給食指導の方法を共通化し、定期的に3・4年担任が交代して指導。

【中略】

今年度は、「義務教育学校」への移行を視野に入れた小中一貫教育を推進し、9年間を見通した教育課程を工夫する中で、このような多彩な指導体制・システムを取り入れていきます。できるだけ教師の専門性を生かしながら、子どもたちにとっては「たくさんの先生方から、いろいろなことを学ぶ」ことができるように工夫しました。

これも、高森東学園だからこそできる、一歩踏み込んだ取組ではないかと思っています。

今回この記事を紹介した訳は、来年度、本校でもこの取組を参考にした指導体制を組んでみたいと考えているからです。以前からやってみようとは思いますが、担任等へ働きかけをしたこともあったのですが、実現はできていませんでした。しかし、最近取り組んでいる、担任を交代して行う復習「チャレンジ学習」の様子と、学習が充実する素地ができてきた各学級の状況を見ていて、再度、取り組んでみたいという意欲がむくむくと湧いてきました。もちろん、この取組はそのままでは使えませんので、本校に合った形へ大幅な変更が必要ですが、今、その構想を着々と練っているところです。

まずは、今できることとして、支援員の配置に変化を加えています。今までは、担当学級をある程度固定していたのですが、現在、その固定を外し様々な学級に入ってもらおうとしています。

全教職員が力を結集して、6年間を見通した教育活動を行ううえで、今までの「学級担任」という概念を少し変えてみるのも一つの方法なのかもしれないと考えているところです。勢いが出てきた甲佐小の勢いがさらに加速するよう、来年度へ向けての準備を進めています。